

調 査 の 概 要

1 調査の目的

21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）は、調査対象となった男女の結婚、出産、就業等の実態及び意識の経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的として、平成24年から実施しており、今回で9回目の実施となる。

2 調査の対象及び客体

平成24年10月末時点で20～29歳であった全国（福島県の一部地域を除く。）の男女（及びその配偶者（ただし、第1回調査実施時までに把握した配偶者に限る。））を対象とし、そのうち、第7回又は第8回調査において協力を得られた者を客体とした。

第9回調査における対象者の年齢は、28～37歳である。

3 調査の期日

調査の周期 毎年1回（11月の第一水曜日）

調査の期日 第9回調査 令和2年11月4日（水）

4 調査票の種類

（1）男性票 （2）女性票

5 調査の事項

（1）男性票 …… 仕事の有無、就業形態、配偶者の有無、子ども数、家事・育児時間、職業観等

（2）女性票 …… 仕事の有無、就業形態、配偶者の有無、子ども数、家事・育児時間、職業観等

6 調査の方法

厚生労働省から郵送された調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。なお、第5回調査からインターネットによるオンライン回答も可能とした。

7 調査の系統

厚生労働省 ————— 被調査者

8 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省政策統括官（統計・情報政策、労使関係担当）において行った。調査客体数、回収客体数及び集計客体数は次のとおりである。なお、本概況では、回収客体数（8,922人）のうち、第1回調査から第9回調査まで集計可能である5,864人を集計客体とした。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
男性票	4,350	3,775	2,465
（再掲）配偶者票 ^{（注）}	215	186	115
女性票	5,845	5,147	3,399
（再掲）配偶者票 ^{（注）}	91	81	52
計	10,195	8,922	5,864

（注）第1回調査における配偶者票対象者は、第2回調査から、男性票又は女性票の対象者として調査を実施している。

（参考）各調査回の調査客体数と回収客体数（第1回調査における男性票及び女性票の対象者）

	対象者の年齢	調査客体数	回収客体数	回収率
第1回	20～29歳	38,879	31,122	80.0%
第2回	21～30歳	33,835	18,979	56.1%
第3回	22～31歳	30,741	15,326	49.9%
第4回	23～32歳	20,082	14,300	71.2%
第5回	24～33歳	16,731	11,879	71.0%
第6回	25～34歳	14,600	10,230	70.1%
第7回	26～35歳	12,353	9,456	76.5%
第8回	27～36歳	10,907	8,587	78.7%
第9回	28～37歳	9,889	8,655	87.5%

（注）第1回は、調査員調査により実施。

9 利用上の注意

（1）表章記号の規約

計数のない場合	—
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…

（2）この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

（3）「21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者）」を「21世紀成年者縦断調査（平成14年成年者）」と比較する際は、それぞれを「24年成年者」「14年成年者」としている。

なお、「21世紀成年者縦断調査（平成14年成年者）」は、平成14年10月末時点で20～34歳であった全国の男女（及びその配偶者（ただし、第11回調査実施時までに把握した配偶者に限る。））を対象としたものであり、この概況では平成14年10月末時点で20～29歳であった者を集計している。